



JAF 公認

2018年 JMRC群馬ラリーシリーズ案内 及び 規則書



ご注意) 2018 シーズンも車検時に「シートベルトの損傷」及び「ヘルメットの使用期限」を重点的に確認します。

JMRC 群馬ラリーシリーズ シリーズ事務局

〒379-1414 群馬県利根郡みなかみ町布施2755

TEL 090-1400-9715 E-Mail info@gunma-rally.com

JMRC 群馬支部 ラリー部会 事務局長 原沢 俊一

公式 WEB サイト <http://www.gunma-rally.com>

●シリーズ概要

「JMRC 群馬ラリーシリーズ」（以下 群馬ラリーシリーズ）は初心者から上級者まで幅広く楽しめる開催を目指して、2018年も全5戦の開催となり、JMRC 関東ラリーシリーズのポイントも同時に取得できます。

群馬ラリーシリーズは、全てのラリーで公道を閉鎖したスペシャルステージ（以下SS）で構成され、速いクルーが上位成績を残すことができるラリーで、初心者の方でもラリーの醍醐味を満喫できる設定です。また将来上級イベントにステップアップした場合のラリー全般における基礎技術を習得できる最適なイベントです。

若い参加者を対象に「フレッシュマン応援制度」や、「サービス紹介制度」や「荷物預かりサービス」を実施し、本年も参加しやすいラリーの開催に努めてまいります。

●2018年 群馬ラリーシリーズカレンダー

	開催日時	大会名称	主催クラブ	格 式	種 別	場所・距離	SS/路面
第1戦	4/14-15	ネコステ山岳ラリー 2018	ネコステラリーチーム	C	SS	藤岡市 200km	有り/ターマック
第2戦	5/13(1Day)	あさま隠山岳ラリー2018	オートスポーツクラブあさま隠	D	2種	吾妻郡 160km	有り/ターマック
第3戦	9/1-2	Play-Stage ラリー	プレステージモータースポーツクラブ	D	SS	前橋市 150km	有り/ターマック
第4戦	9/22-23	第64回チーム if 山岳ラリー	オートスポーツクラブチームイフ	D	2種	嬭恋村 240km	有り/ターマック
第5戦	10/27-28	MSCC ラリー in MIKABO http://www.mazdasportscarclub.jp	マツダスポーツカークラブ	D	SS	藤岡市 200km	有り/ターマック

※路面については、変更が入る可能性があります。各大会の特別規則書を確認して下さい。

●連絡先一覧

	クラブ名	担当者	TEL	FAX	携帯	メール/備考
第1戦	NECOSTE	高野 啓嗣	049-277-2005	049-277-2006	090-3085-2071	bsf_taka@yahoo.co.jp
第2戦	あさま隠	片貝 努	0279-67-2425	0279-67-2425	090-8894-4684	katakai@xp.wind.jp
第3戦	PRESTIGE	青柳 要一	—	—	090-3518-6745	sutou@peach.ocn.ne.jp
第4戦	チームイフ	篠原 悦男	0276-74-2356	0276-72-7243	090-8941-0981	fwhw5937@mb.infoweb.ne.jp
第5戦	MSCC	小島 章裕	03-3414-0176	03-3414-0472	090-3234-1720	msscrally@mazdasportscarclub.jp

注：連絡については常識ある時間帯をお願いします。

●競技会規則

本競技会は日本自動車連盟(JAF)公認の基に FIA国際モータースポーツ競技規則ならびにそれに準拠した 2018年JAF 国内競技規則および2018年JMRCラリーシリーズ関東地域統一規則書および各競技会特別規則にしたがって開催される。

●参加資格

1. 1台の車両に乗車する定員はドライバー、ナビゲーター(コドライバー)の2名(以下クルー)とし、2018年のJAF国内競技運転者許可証B級以上の所有者でなければならない。
2. クルーは本競技会に参加申込を行う時点において、参加車両を運転するのに有効な運転免許証を取得後1年以上経過していなければならない。但し、オーガナイザーの判断により特別参加を認める場合がある。
3. 20歳未満の者が参加する場合には、親権者の承諾を必要とする。

●参加料

1台につき 35,000円~50,000円程度を予定(宿泊を伴うイベントは宿泊費を上乗せする場合がある)。クルーがJMRCに加入していない場合1名につき1,000円増額する場合がある。詳細は各競技会特別規則書に明記される。

●ラリー保険の加入

当該競技会に有効な任意保険(対人 / 人身傷害若しくは搭乗者傷害)または主催者が認めた場合はJMRC関東ラリー見舞金制度への加入を義務づける。

JMRC関東ラリー見舞金制度を使用する場合は、JMRC関東の加盟クラブ・団体に登録のうえ、JMRC関東スポーツ安全保険制度C区分又はJMRC関東見舞金制度に加入していること。

個人加入できない場合はオーガナイザーが団体加入を行なう。但し、各競技会特別規則書等で記載の〆切日程を厳守すること(〆切日程を過ぎた場合、加入できない)。詳細は各オーガナイザーに確認のこと。

●参加車両及び安全装備（今年はシリーズを通し 2, 4項の _____ 部は車検時に重点的に確認する。）

1. JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に定める RN、RJ、RF、RPN、AE車両、又はRB 車両（2002 年ラリー車両規定に従って製作したラリー車両）、とする
2. 参加車両は6点式以上のロールバーを装着することを義務とする。更に、乗員保護を目的とする追加バーの装着を強く推奨する。ロールバー及び追加バーの取付け要項は2017年JAF国内競技車両規則第1編、第2編の安全規定におけるロールバーまたは、ロールゲージの項を参照し取り付けること。また、4点式以上の安全ベルトを装着することを義務とする。安全ベルトはJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定 第2章安全規定 第2条に合致したものの装備を強く推奨する。
安全性の観点から、シートベルトに裂傷が認められるものを使用している場合は、競技会への参加を拒否することがある（※2018年JAF国内競技車両規則に準拠し、Y字レイアウトの胸部拘束用ベルトの使用は禁止する）。
また、シートベルトの取付けは、2018国内競技車両規則第4編ラリー競技およびスピード行事競技における安全ベルトに関する指導要綱に準拠し取り付けること（アイボルトは既存のシートベルト取り付け部に装着することを強く推奨する。また、シートレールに追加された部位への装着は不可とする）。2018年JMRC群馬ラリーシリーズではシート/シートベルトの取付け方法、車室内の積載物の固定方法について、厳重に確認する。
3. 装備品
A3版OK SOSボード2枚、非常用停止表示板2枚(三角停止板)、非常用信号灯(発煙筒)、赤色灯、牽引ロープ、救急薬品、及びラリー車両規定第2編第2章第3条)に定められた消火器(内容量: 2kg以上)を搭載すること。
4. クルーの安全装備
クルーが着用するものは、2018年国内競技車両規則第4編付則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する付則に従ったヘルメット(「スピード行事競技用ヘルメットに関する指導要項」に従ったグレード以上、かつ、製造後「10年」経過したものは使用してはならない)、およびレーシングスーツを着用することを義務とし、ドライバーはレーシンググローブも着用することを義務とする。レーシングスーツとは以下の①～④を参照のこと。①全体が1体式となった(いわゆるレーシングスーツ)形状であること。②表地が防炎性素材生地であること。③1枚(1層)以上の防炎性素材生地の裏地を有していることが望ましい。④救出の際に利用できる肩位置の引き手(肩章)を有することが望ましい。
尚、SSを有する競技会参加においては、頭部および頸部の保護装置(FHRシステム、HANS等)の装着を推奨する。
5. 騒音公害防止上の音量規制
触媒コンバーター以降の排気管及びマフラーについて車検(国土交通省が行う自動車検査登録制度)合格時の物を使用する事とする。詳細については各競技会特別規則書を参照し、著しく音量の大きい車両は各競技会オーガナイザーより参加を拒否される場合がある。
6. タイヤ
RN RJ車両 : 2018年JAF国内競技車両規則第2編 第3章 第6条 2項のタイヤの規則に準拠すること。
RF RB車両 : RN RJ車両のタイヤ規定に準ずる。
RPN車両 : 2018年JAF国内競技車両規則第2編 第4章 第7条 2項のタイヤの規則に準拠すること。
AE車両 : 2018年JAF国内競技車両規則第2編 第5章 第7条 2項のタイヤの規則に準拠すること。
使用タイヤは、原則ラリータイヤに限る。但し、ラリータイヤに適合サイズのない車両、については、セミレーシングタイヤ(Sタイヤ)以外のラジアルタイヤの使用を認める場合がある。ラリータイヤ以外で参加希望の場合は、使用タイヤについて、各オーガナイザーに確認のこと。また、いかなる場合でもスリップサインが出ているタイヤの使用は禁止する。
7. リストリクター
2018年群馬ラリーシリーズでは、リストリクターの装着の義務化は行なわない。
- 8 補助灯
1: 取付け出来る補助灯は2灯までとし、点灯時は車幅灯及び番号灯と連動しなければ成らない。又照射部の取り付け高さはヘッドライトの上縁を超えないこと。
2: ヘッドライトより高いボンネット上に2灯又は4灯の補助灯を取付けた場合、より高い位置の2灯をヘッドライトのハイビームとする事で認められる。
3: 車両に標準のフォグランプを含め、同時点灯出来るヘッドライトと補助灯は合計で6灯までとする。
4: 4灯一体型ヘッドライト装着車両に2個以上の補助灯を取り付ける場合は同時に8灯点灯にならないようにすること。

●クラス区分

Aクラス: 排気量1500cc を含み1500ccまでの車両。

Bクラス: 排気量1500ccを超え3000cc を含み3000cc までの車両。

Cクラス: 排気量3000cc を超える車両。

※1600CC以下のRPN車両はAクラスに含めるものとする。

チャレンジクラス : 各競技会特別規則書により上記以外のクラスを設定できるがその部門への参加の場合シリーズ表彰対象外とし、シリーズポイントは与えられない。

* 過給装置付エンジンの車両は、その公称気筒容積に
ガソリンエンジンは係数1.7 ディーゼルエンジンは係数1.5 を乗じ、
それによって得られた値に相当する車両として扱われる。
* ローターエンジンについてはシプロエンジンと同等排気量として扱われる。

●チャレンジクラス

- ・ラリータイヤ以外のラジアルタイヤ（Sタイヤを除く）で参加可能。
- ・参加車両は上記記載の参加車両規則に従っていること。
- ・クラス区分：排気量及び駆動方式によるクラス区分は行わない。
- ・表彰については各戦の主催者の判断に従う。また、シリーズ表彰は対象外とする。

●賞典

各クラス1～3位、JAFメダル、または楯、副賞。その他賞典及び賞典の内容は各競技会特別規則書にて示す。

●シリーズポイント及び表彰

1. シリーズポイント

シリーズポイントは各クラス共ドライバー、ナビゲーターに対し、表のとおりポイントを与える。
 但し、グラベルSSを含むラリーは、下記のポイントに1.2倍し小数点第1位を繰り上げたポイントを与える。
 （参加台数に関わらず同様のポイントとする。）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ターマックPt	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1
グラベルPt	24	18	15	12	10	8	5	4	3	2

2. 有効戦数及び最低参戦数

5戦のポイントを有効とし、同一クラスにおいて最低3戦以上参戦した場合にシリーズ表彰対象とする。

3. クラス成立

各クラス1台から成立するものとする。

4. シリーズ表彰

シリーズ表彰は各クラスにおいてドライバー、ナビゲーター両部門を原則6位まで表彰する。

（但し、シリーズ対象者の30%以内とする）。

複数名の競技者が同一の得点を得た場合は、参加回数の多い者、上位ポイント早期獲得者の順で決定する。

その他疑義が発生した場合はシリーズ運営委員会が決定をする。

5. シリーズ特別賞

シリーズを通し、優秀な成績を収めた若手ドライバー1名を『2019年 RALLY of TSUMAGOI』へ招待する。

●シリーズ表彰式

本年度のシリーズ表彰式は対象者に別途、郵送等により告知する。

●練習走行の禁止

公道での練習走行を禁止する。発覚した場合、群馬ラリーシリーズを含むJMRC関東地域のラリーシリーズすべてにおいて参加を拒否することがある。

●その他

- ・フレッシュマン登録制度：25歳以下の方対象に登録し、かつ、全戦に参戦された方にはキャッシュバックする。
- ・新規参加者紹介制度：過去に群馬ラリーシリーズに参戦していないドライバーを紹介していただいた方へ、小額ですがキャッシュバックします。各競技会での申込み時に簡単な書類の提出が必要です。
 なお、2017年シリーズに一度でも参加しているドライバーの紹介は制度の対象外となる。
- ・サービスを連れてこられなかったエントラントの方へ『サービス紹介制度』、または、『荷物預かりサービス』を実施。
- ・マシントラブル等で動かなくなった方へラリーカーとともに帰宅できる『レッカー紹介制度』を実施。
- ・主催者より提供される食事については各競技会オーガナイザーに確認のこと。

■事務局／運営委員会	運営事務局	原沢 俊一	090-1400-9715	info@gunma-rally.com
	運営委員長	高桑 春雄	080-1987-0199	takakuwa@n-mosco.com
	運営委員	堀口 幹城	090-5584-4944	motokuni@me.com
	運営委員	石倉 聡	090-3400-2206	seijin@guitar.ocn.ne.jp